

2年国語 課題③

枕草子 学習プリント1

2年()組()番 氏名()

国語2(教科書P32)『枕草子』について、以下の課題に取り組みましょう。
このプリントは授業でも使用します。

(関心・意欲・態度)

課題

- ① 教科書P32『枕草子』原文を読む
- ② 教科書P32『枕草子』現代語訳を読む
- ③ 作者・出典を確認する
- ④ 語句の意味を調べる(便覧を用いる)
- ⑤ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す
- ⑥ 教科書P32『枕草子』原文を音読する

単元目標

- ・情景を想像しながら、すらすら『枕草子』を音読できる。
- ・作者の四季に対するもの見方や感じ方と、自分が感じる四季の趣を比較できる。

この課題の目標

- ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことで、すらすら音読できる。
- ・語句の意味を確認することで、情景を想像することができる。

■ 作者・出典を確認する (教科書P33)を見て、空欄に当てはまる語を書く

作者

() ()

平安時代中期の歌人、()

()の娘。

一条天皇の()

()に仕えた。

出典

「枕草子」

清少納言の()

()。作者が宮仕えをしてい

た頃、見聞きしたことや、季節の感想、人生観などを折に触れて書き記したものを



■ 便覧(P 42 ～)古語辞典を見て、古語の意味を調べ、書く

語句	意味
あけぼの	
やうやう	
さらなり	
をかし	
いと	
あはれなり	
まいて	
はた	
つとめて	
つきづきし	
わるし	

■ 線部の歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して、すべてひらがなで書く (便覧P 38 参照)

① やうやう白く……

③ 闇もなほ、……

⑤ うち光りて行くもをかし。

⑦ 飛びいそぐさへあはれなり。

② 山ぎは、……

④ 螢の多く飛びちがひたる。

⑥ 山の端いと近うなりたるに、……

⑧ はた言ふべきにあらず。